

---

## **Mother, I don't want to die!**

9th August, Nagasaki, A schoolgirl, 15 years old

Under the scorching sun, a young mother was gazing at the sky with hollow eyes, holding her burnt dead child in her arms.

Many people were desperate. They could only pay attention to themselves, and had no energy to care for others despite their cries for help.

"Mother, I don't want to die!"

"Die with me!"

"Mother I don't want to die!"

The voice faded away.

That voice is still echoing in the back of my mind.

お母さん死にたくない 8月9日 長崎 15歳 女学生

炎天下、全身火傷をして死んでいる赤ん坊を抱いて虚ろな目で空を見つめていた若い母親。

悲惨な姿の人が一杯いるが、ただただ自分のことで精一杯、だれが救いを求めても何をしてやる気力もない。

お母さん 死にたくない!

いっしょに死んで!

お母さん 死にたくない!

声はだんだん小さくなっていった。

あの声は、未だに私の耳の奥底に焼き付いている。

---

お母さん死にたくない、いつしよに死んで  
お母さん、お母さん死にたくない、いつしよに死んで



母之死に於て

死にたい

北にたふはい

一語に於て

子居曰松の樹

恒隆號

全身ヤートと一と死んでい

赤くてもよい  
白でもよく見えて

五



たゞく自分の事で精一はい

誰が救いを求めても何もしてやる気力もない。

諫早殿